

2012年3月期第2四半期 業績概要 および 事業戦略

2011年11月16日

株式会社システナ

証券コード：2317（東証一部）

【会社名】	株式会社システナ	【上場市場】	東証一部（2005年10月昇格）
【設立】	1983年 3月24日	【資本金】	15億1,375万円
【決算期】	3月	【発行済株式数】	316,475株
【本社】	〒105-0022 東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング 14F		
【役員】	代表取締役社長：逸見 愛親 代表取締役副社長：三浦 賢治 専務取締役：淵之上 勝弘	常務取締役：国分 靖哲 常務取締役：甲斐 隆文 常務取締役：杉山 一	常務取締役：小田 信也 社外取締役：板谷 嘉之
【従業員数】	単体：1,618名 連結：1,995名（2011年9月30日現在）		

モバイル高速データ通信事業

- ▶ 携帯電話・スマートフォンを中心としたモバイル端末の企画、仕様策定、設計・開発、品質評価
- ▶ 航空機・自動車・デジタルカメラ・複合機などの組込み・制御ソフトウェアの設計・開発

●主要顧客：通信キャリア、メーカー

情報システム事業

- ▶ 金融機関向け基幹・周辺システムの設計・開発
- ▶ ポータルサイト、電子書籍などネットビジネス向けシステムの構築・開発

●主要顧客：生損保、銀行、ネットビジネス事業会社

ITサービス事業

- ▶ システムやネットワークの運用・保守・監視、ヘルプデスク・ユーザーサポート
- ▶ データ入力、大量出力、メーリング、発送代行、事務局代行、事務処理代行

●主要顧客：電機メーカー、外資系企業、官公庁

ソリューション営業

- ▶ サーバー・パソコン・周辺機器・ソフトウェアなどIT関連商品の企業向け販売

●主要顧客：電機メーカー、外資系企業

エアー・クラウド推進事業

- ▶ 「Google Apps」、「Microsoft Office 365」など、クラウド型サービスの提供、導入支援

コンシューマサービス事業

- ▶ Androidスマートフォン向けアバターSNS・ソーシャルゲームの企画・開発・運営

グループ会社概要

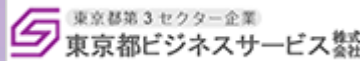
●連結子会社



株式会社ProVision

【資本金】 8,500万円
【出資比率】 88.8%

- ・情報端末のソフトウェア開発支援及び技術支援
- ・携帯端末・Webアプリケーションの品質検証、システムの保守・運用



東京都ビジネスサービス株式会社

【資本金】 1億円
【出資比率】 システナ 51%
東京都 49%

データ入力、大量出力などIT分野におけるアウトソーシングサービスの提供

(東京都との共同出資による重度障害者雇用モデル企業)



株式会社GaYa

【資本金】 7,500万円
【出資比率】 65%

スマートフォン向けアバターSNS・ソーシャルゲームの企画・開発・運営

(2010年11月設立)



株式会社IDY

【資本金】 6,500万円
【出資比率】 76.7%

携帯電話を含む無線インフラを中心とした各種通信デバイス・通信ソフトウェアの販売、無線通信に関わる各種開発

●持分法適用関連会社



北洋情報システム株式会社

【資本金】 9,500万円
【出資比率】 25%

- ・コンピューター及び関連機器商品の開発・販売
- ・コンピューター技術者及び技能者の要員提供



リトルソフト株式会社

【資本金】 3,500万円
【出資比率】 20%

クラウド環境対応Webアプリケーション『LSクラウド・ウェア』の開発及び同製品を軸としたシステム・インテグレーション・サービスの提供



iSYS Information Technology Co.Ltd.

【資本金】 100万米ドル
【出資比率】 35%

モバイルおよび金融機関向けシステムを中心としたオフショア開発

(iSoftStone社(中国)との合併企業
所在地：中国 北京市)

2012年3月期第2四半期 (2011年4月1日～2011年9月30日) 業績概要

2012年3月期第2四半期 業績概要(連結)

- ▶ **四半期純利益**：当期より繰延税金資産の取崩額(6億円)を税金費用として計上したことにより前年同期比減（キャッシュの流出はない）
業績予想比ではほぼ計画通り

(単位:百万円)

	当第2四半期累計実績		前第2四半期累計実績		前年同期比		当第2四半期累計業績予想		業績予想比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率	金額	利益率	差異額	差異率
売上高	14,731	—	19,208	—	▲4,476	▲23.3%	14,959	—	▲228	▲1.5%
営業利益	830	5.6%	996	5.2%	▲166	▲16.7%	900	6.0%	▲69	▲7.8%
経常利益	887	6.0%	1,046	5.4%	▲159	▲15.2%	924	6.2%	▲37	▲4.0%
四半期純利益	726	4.9%	1,085	5.7%	▲359	▲33.1%	721	4.8%	4	0.6%

2012年3月期第2四半期 業績概要(単体)

システナ単体の利益は、前年同期比・業績予想比ともに大幅増

(単位:百万円)

	当第2四半期累計 実績		前第2四半期累計 実績		前年同期比		当第2四半期累計 業績予想		業績予想比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率	金額	利益率	差異額	差異率
売上高	13,460	—	16,655	—	▲3,194	▲19.2%	13,663	—	▲202	▲1.5%
営業利益	1,164	8.7%	836	5.0%	328	39.2%	1,035	7.6%	128	12.4%
経常利益	1,211	9.0%	895	5.4%	316	35.3%	1,063	7.8%	147	13.9%
四半期純利益	905	6.7%	776	4.7%	128	16.6%	806	5.9%	99	12.3%

セグメント別売上高(連結) <前年同期比>

(単位:百万円)

	当第2四半期累計 実績		前第2四半期累計 実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
モバイル高速 データ通信	3,322	22.6%	3,447	18.0%	▲125	▲3.6%
情報システム	2,804	19.0%	6,151	32.0%	▲3,347	▲54.4%
ITサービス	2,640	17.9%	2,881	15.0%	▲240	▲8.4%
ソリューション 営業	5,844	39.7%	6,740	35.1%	▲895	▲13.3%
エアー・クラウド 推進	135	0.9%	16	0.1%	118	714.0%
コンシューマ サービス	20	0.1%	22	0.1%	▲1	▲7.6%
調整額	▲36	▲0.2%	▲51	▲0.3%	15	—
合計	14,731	100.0%	19,208	100.0%	▲4,476	▲23.3%

セグメント別営業利益(連結) <前年同期比>

(単位:百万円)

	当第2四半期累計実績		前第2四半期累計実績		前年同期比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
モバイル高速データ通信	446	13.4%	608	17.6%	▲162	▲26.7%
情報システム	300	10.7%	290	4.7%	10	3.7%
ITサービス	11	0.4%	147	5.1%	▲136	▲92.4%
ソリューション営業	146	2.5%	▲6	▲0.1%	153	2,324.8%※
エアー・クラウド推進	21	15.8%	▲34	—	55	162.2%※
コンシューマサービス	▲95	—	▲27	—	▲68	▲244.4%※
調整額	—	—	19	—	▲19	—
合計	830	5.6%	996	5.2%	▲166	▲16.7%

※ 参考値として、前第2四半期累計実績の絶対値を用いて算出。

セグメント別売上高(単体) <前年同期比>

(単位:百万円)

	当第2四半期累計 実績		前第2四半期累計 実績		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
モバイル高速 データ通信	3,201	23.8%	3,294	19.8%	▲93	▲2.8%
情報システム	2,757	20.5%	4,839	29.0%	▲2,081	▲43.0%
ITサービス	1,521	11.3%	1,764	10.6%	▲242	▲13.8%
ソリューション 営業	5,844	43.4%	6,740	40.5%	▲895	▲13.3%
エアー・クラウド 推進	135	1.0%	16	0.1%	118	714.0%
合計	13,460	100.0%	16,655	100.0%	▲3,194	▲19.2%

セグメント別営業利益(単体) <前年同期比>

(単位:百万円)

	当第2四半期累計実績		前第2四半期累計実績		前年同期比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
モバイル高速データ通信	525	16.4%	604	18.4%	▲79	▲13.1%
情報システム	300	10.9%	231	4.8%	69	29.9%
ITサービス	167	11.0%	38	2.2%	128	334.7%
ソリューション営業	149	2.6%	▲4	▲0.1%	153	3,361.1%※
エアー・クラウド推進	21	15.9%	▲34	—	55	163.3%※
合計	1,164	8.7%	836	5.0%	328	39.2%

※ 参考値として、前第2四半期累計実績の絶対値を用いて算出。

＜第2四半期業績概要に関する説明①＞

- ▶ モバイル高速データ通信** : 震災の影響を受けつつも、Androidスマートフォンの秋冬モデルの開発・評価案件の受注は堅調に推移。
- ▶ 情報システム** : 子会社や一部事業の売却により売上減。一方、構造改革と収益改善策の実施により高収益体質へ転換。
iSYSを活用したオフショア案件の獲得も進む。
- ▶ ITサービス** : 「ITスキル＋英語力」のサービスを提供できる人材の採用、教育に注力、企業のグローバル展開の流れに乗り、利益体質に転換。
単体では大幅増益となるが、東京都ビジネスサービスが貸倒引当金を計上したため利益減。

＜第2四半期業績概要に関する説明②＞

- ▶ ソリューション営業** : PCメーカーとの協業を進め、より付加価値の高い商材への特化により売上は減少したものの、キッティング※などのサービス売上の増加やリベートの獲得などにより営業利益は大幅増。
- ▶ エアー・クラウド推進** : 震災後のクラウド型サービスのニーズの高まりを受け、引き合いが大幅増。黒字化。
- ▶ コンシューマサービス** : Android搭載スマホ向けのSNSゲームポータルサイトを構築し投入するも、大手SNSサービス会社の参入が早く、苦戦。ビジネスモデルの再構築を検討。

※ パソコンを新規導入する際に必要となるOSのセットアップ、ソフトウェアのインストール、メモリ・ハードディスクの増設、ネットワークの接続、プリンタの設定、メールの設定などパソコンを実際に使用できる状態にする作業。

＜子会社の業績に関する説明＞

- ▶ **ProVision** : システナ本体のモバイル部門と連携し事業を推進。
業績は順調。
- ▶ **東京都
ビジネス
サービス** : 安定して収益を上げる会社であるが、納品・検収
が完了し請求済にも関わらず、支払われないため
協議中の案件が発生し、171百万円の貸倒引当
金を計上、結果148百万円の営業損失。
システナ本体の主導により管理体制を強化。
- ▶ **GaYa** : 当第2四半期は営業損失130百万円の計画に対し、
開発の効率化・広告宣伝費の削減により99百万円
の損失に抑制。
ビジネスモデルの転換により早期に黒字化を図る。
- ▶ **IDY** : 4月に子会社化。受託開発案件において不採算プロ
ジェクトが発生し56百万円の営業損失。
システナ本体の管理体制を導入し再発防止を徹底。

資産・負債・純資産 の状況

資産の状況(連結)

- ▶ **受取手形及び売掛金** : 売掛金の回収などにより14億円減少
- ▶ **投資その他の資産** : 繰延税金資産の取崩しなどにより5億円減少

(単位:百万円)

	当第2四半期末 (2011年9月30日)		前期末 (2011年3月31日)		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
流動資産合計	13,151	61.1%	15,336	62.7%	▲2,185
現金及び預金	4,817	22.4%	5,188	21.2%	▲370
受取手形及び売掛金	6,254	29.0%	7,734	31.6%	▲1,479
繰延税金資産	1,605	7.5%	1,680	6.9%	▲74
その他	472	2.2%	732	3.0%	▲260
固定資産合計	8,390	38.9%	9,117	37.3%	▲726
有形固定資産	2,862	13.3%	3,057	12.5%	▲194
無形固定資産	1,061	4.9%	1,052	4.3%	8
投資その他の資産	4,466	20.7%	5,006	20.5%	▲539
資産合計	21,541	100.0%	24,453	100.0%	▲2,911

負債・純資産の状況(連結)

- ▶ **負債** : 借入金の返済**17億円**を中心に**31億円圧縮**
- ▶ **自己資本比率** : 負債圧縮などにより合併時の42.6%から**24.9p改善** (当2Q末67.5%)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 (2011年9月30日)		前期末 (2011年3月31日)		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
負債合計	6,620	30.8%	9,761	39.9%	▲3,140
流動負債	5,938	27.6%	8,761	35.8%	▲2,823
固定負債	682	3.2%	999	4.1%	▲316
純資産合計	14,920	69.2%	14,692	60.1%	228
株主資本	14,557	67.5%	14,224	58.2%	333
資本金	1,513	7.0%	1,513	6.2%	—
資本剰余金	7,362	34.2%	7,362	30.1%	—
利益剰余金	6,583	30.5%	6,250	25.6%	333
自己株式	▲901	▲4.2%	▲901	▲3.7%	—
その他包括利益累計額	▲23	▲0.1%	▲10	▲0.1%	▲13
少数株主持分	386	1.8%	478	2.0%	▲91
負債・純資産合計	21,541	100.0%	24,453	100.0%	▲2,911

2012年3月期 通期業績予想(連結)

▶ 当期純利益の減少要因

- ・前期は、子会社株式や固定資産の売却で、特別利益を11億円計上
- ・繰延税金資産の取崩額が、前期の3億円から当期は13億円に増加（キャッシュの流出はない）

(単位:百万円)

	当期業績予想		前期実績		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	33,499	—	39,176	—	▲5,677	▲14.5%
営業利益	2,590	7.7%	2,579	6.6%	10	0.4%
経常利益	2,592	7.7%	2,661	6.8%	▲68	▲2.6%
当期純利益	1,626	4.9%	2,957	7.5%	▲1,330	▲45.0%

2012年3月期 通期業績予想(単体)

システナ単体は好調、営業利益は二ケタ増を見込む

(単位:百万円)

	当期業績予想		前期実績		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	31,022	—	34,067	—	▲3,045	▲8.9%
営業利益	2,721	8.8%	2,400	7.0%	320	13.3%
経常利益	2,724	8.8%	2,504	7.4%	219	8.8%
当期純利益	1,737	5.6%	2,776	8.2%	▲1,039	▲37.4%

2012年3月期 通期業績予想

セグメント別売上高(連結)

(単位:百万円)

	当期 業績予想		前期実績		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
モバイル高速データ通信	7,786	23.2%	7,381	18.8%	405	5.5%
情報システム	6,004	17.9%	11,813	30.2%	▲5,809	▲49.2%
ITサービス	5,265	15.7%	5,566	14.2%	▲300	▲5.4%
ソリューション営業	14,278	42.6%	14,390	36.7%	▲112	▲0.8%
エアー・クラウド推進	186	0.6%	70	0.2%	115	163.5%
コンシューマサービス	82	0.3%	43	0.1%	38	88.8%
調整額	▲105	▲0.3%	▲89	▲0.2%	▲15	—
合計	33,499	100.0%	39,176	100.0%	▲5,677	▲14.5%

2012年3月期 通期業績予想 セグメント別営業利益(連結)

(単位:百万円)

	当期 業績予想		前期実績		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
モバイル高速データ通信	1,354	17.4%	1,373	18.6%	▲19	▲1.4%
情報システム	660	11.0%	807	6.8%	▲146	▲18.2%
ITサービス	447	8.5%	308	5.5%	138	44.9%
ソリューション営業	322	2.3%	202	1.4%	119	59.1%
エアー・クラウド推進	▲15 ※1	—	▲72	—	57	—
コンシューマサービス	▲182 ※2	—	▲86	—	▲95	—
調整額	4	—	46	—	▲42	—
合計	2,590	7.7%	2,579	6.6%	10	0.4%

※1 大幅に黒字転換し、営業利益20百万円で着地の見込み。

※2 1億円程度の営業損失で着地の見込み。

2012年3月期 通期業績予想 セグメント別売上高(単体)

(単位:百万円)

	当期 業績予想		前期実績		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
モバイル高速データ通信	7,374	23.8%	7,107	20.9%	267	3.8%
情報システム	5,928	19.1%	9,105	26.7%	▲3,177	▲34.9%
ITサービス	3,253	10.5%	3,392	10.0%	▲138	▲4.1%
ソリューション営業	14,278	46.0%	14,390	42.2%	▲112	▲0.8%
エアー・クラウド推進	186	0.6%	70	0.2%	115	163.5%
合計	31,022	100.0%	34,067	100.0%	▲3,045	▲8.9%

2012年3月期 通期業績予想 セグメント別営業利益(単体)

(単位:百万円)

	当期 業績予想		前期実績		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
モバイル高速データ通信	1,383	18.8%	1,379	19.4%	4	0.3%
情報システム	667	11.3%	665	7.3%	2	0.3%
ITサービス	358	11.0%	221	6.5%	137	62.2%
ソリューション営業	326	2.3%	207	1.4%	118	57.5%
エアー・クラウド推進	▲15※	—	▲72	—	57	—
合計	2,721	8.8%	2,400	7.0%	320	13.3%

※ 大幅に黒字転換し、営業利益20百万円で着地の見込み。

＜各セグメントの事業方針①＞

- ▶ モバイル高速データ通信** : Androidスマートフォン開発のノウハウの蓄積・実績により、スマホを利用したソリューションサービスなど新たなビジネスモデルを育成中。
 今期は部門売上の5%、来期20%、3年後50%を目指す。
- ▶ 情報システム** : iSYSのコストメリットを活用したオフショア開発に加え、グループ会社と連携したニアショア開発を推進。
 また、モバイル事業との連携によりモバイル・タブレット端末を活用したエアークラウドビジネスモデルを積極提案することで、事業領域の拡大を図る。
- ▶ ITサービス** : オペレータ派遣中心から、英語力を駆使したヘルプデスク業務など、顧客のグローバル化に伴う市場拡大が期待される業務中心へ、ビジネスモデルを転換し収益力をUP。
 現在85:15の男女比を3年後に50:50へ。

＜各セグメントの事業方針②＞

- ▶ ソリューション営業** : システナの全てのサービスを絡めた総合営業を推進。
特にキッティングをはじめとしたサービス売上を伸ばす。
- ▶ エアー・クラウド推進** : 市場の成長スピードの加速に合わせ、さらなる営業力の強化と顧客基盤の拡大を図るとともに、独自サービス「cloudstep」の付加価値拡大による差別化を推進。
- ▶ コンシューマサービス** : 確実に収益を確保できるビジネスモデルに転換。
スマホ向けBtoB、BtoCビジネスを行う事業者のSNSサイト構築、ゲームサイト構築、ECサイト構築などを機器の選定からクラウドシステムの提案まで360度対応可能な体制で開発支援。
複数のゲームコンテンツを大手SNSゲームサイトに提供。

＜子会社に関する方針＞

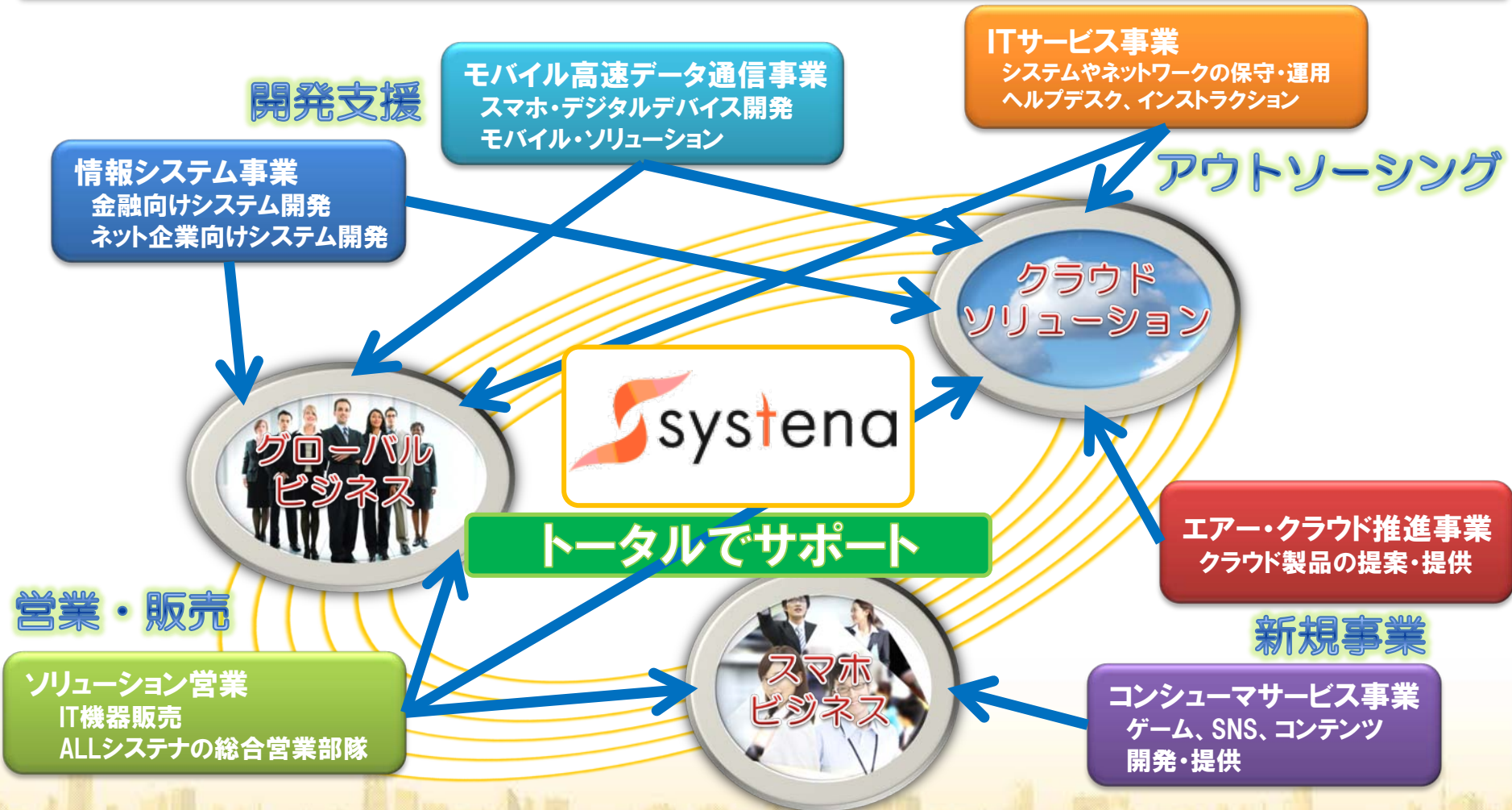
規模拡大路線の修正、先行投資の段階から回収段階への移行により連結利益に貢献

- ▶ **ProVision** : システナ本体のモバイル部門との業務がメインであるが、今後の成長に向けて外販を強化。
- ▶ **東京都
ビジネス
サービス** : 障害者雇用を目的に、長年取引のある官公庁を中心とした顧客からの信頼の厚い、安定したビジネスという原点回帰により、地道な経営を行い業績を回復。
- ▶ **GaYa** : 当期2億円を先行投資する計画であったが、ビジネスモデルを転換。サイト構築・開発支援などの受託案件をこなし赤字縮小。早期黒字化を目指す。
- ▶ **IDY** : 不採算案件は終息。
通信プラットフォーム開発の強みを活かし、システナ本体と連携しハード・ソフトの一体提供によるビジネスを推進、下期黒字化。来期は利益貢献。

スマホとクラウドと
コストメリットをキーワードに、
新たな収益モデルで稼ぐ！

トータル・ソリューション・プロバイダ

クラウド・ソリューション、グローバル・ビジネス、スマホ・ビジネスの3本柱をキーワードとして、各事業の強みを連結し、ITの企画から構築、検証、導入、教育、保守、サポートまでトータル・ソリューションを実現



クラウド・ソリューション

ALLシステナソリューションでIT化を通じたコストダウンに貢献

パブリック・クラウド市場に特化し、コンサルティングから導入支援まで、ALLシステナが保有するスキルとマネジメント力に加え、iSYS(オフショア)、HIS(ニアショア)の開発力によるコストメリットとIDYのハードウェア企画力を活用し、Android搭載スマートフォンやタブレット端末とクラウドを連動させたシステムを企画から保守までのトータルソリューションで提供し、顧客のIT化を通じたコストダウンに貢献。



グローバル・ビジネス

オフショア体制強化により、顧客のコストダウンニーズに応える

当社の業務スキル・マネジメント力とiSYSの開発力を融合し、**高品質と圧倒的なコストダウンにより領域を拡大**し、中国で培ったノウハウを活かし、顧客の海外展開に追従し**グローバル展開**を図る。

ソリューション営業

オフショア開発におけるIT機器販売
ALLシステナの総合営業部隊

モバイル高速データ通信事業

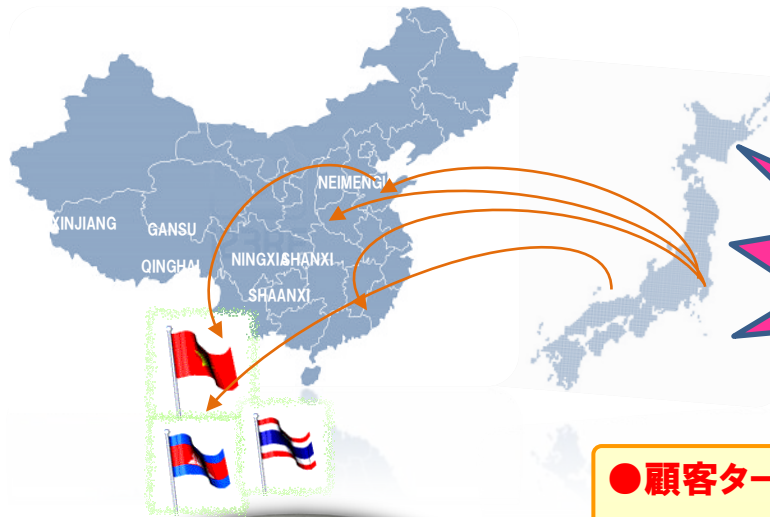
オフショアを活用したスマホ・デジタル
デバイス開発、独自端末の企画・提供

情報システム事業

オフショアを活用した金融向けシステム
の開発・保守
ネット企業向けシステム開発

ITサービス事業

海外進出を検討されている企業に
向けた人材支援



iSYS
iSYS Information Technology Co.Ltd.

コストダウンと
高品質の両立！



●顧客ターゲット

▶ 国内企業

生損保、銀行、
ネットビジネス事業会社、
通信キャリア、メーカー

▶ 海外企業

グローバル展開を図って
いる国内生損保の
海外現地法人、
海外通信キャリア、メーカー

スマホ・ビジネス

爆発的な伸び率を見せるスマホ向けBtoB、BtoC市場で
サービスを行う顧客を支援

スマートフォン市場の伸び率は今後5年で257%※1、ソーシャルメディア市場の伸び率は今後3年で98%※2の高成長マーケット。

これまで、当社グループにおいて培ってきた、オンラインゲーム開発、Androidスマートフォン開発、課金・顧客管理、コンテンツ配信システム開発、金融や各種企業向け大規模システム開発、機器導入から保守・運用のノウハウを総合的に提供することで、圧倒的な競争力を持つ開発支援が可能。

コンシューマサービス事業

独自のAndroid3Dエンジンの開発に成功
簡易にモーションアバターの提供が可能
⇒ データ量を大幅削減、通信コスト
低減と高速化を実現

今後の展開：

- 大手SNSへゲームアプリを供給
- 3Dエンジンのライセンス提供
- コンテンツプロバイダー向け受託開発



情報システム事業

- SNS・ゲーム・コンテンツサーバーの開発
- 顧客管理・課金システム開発
- ポータルサイト開発
- 金融・企業向け大規模システム開発
- HTML5、Android、iPhoneサイト開発

ソリューション営業

- 開発やサービスと絡めたIT機器販売
- ALLシステナの総合営業部隊

モバイル高速データ通信事業

- スマホ・デジタルデバイス開発
- 独自端末企画・提供
- Android、iPhone向けコンテンツ開発

ITサービス事業

- システムのメンテナンス・保守・運用
- 海外展開を含めたヘルプデスク支援

※1 出典：「(株)MM総研 スマートフォン市場規模の推移・予測」に基づき当社にて算出

※2 出典：「(株)ミック経済研究所 ソーシャルメディア市場の売上規模推移」に基づき当社にて算出

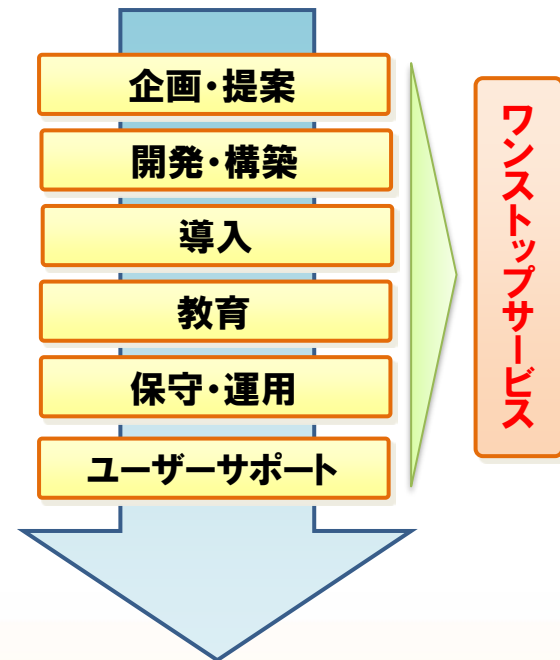
ALLシステナ総合営業

全事業の顧客に向けて、ALLシステナのソリューションを販売

全事業部門が、当社の全てのサービスを提案・提供する総合営業部隊となり、企画から構築、導入、教育、保守、サポートまでのワンストップサービスの窓口となるべく変革中。



ワンストップ営業



来期に向けた具体的な取り組み①

① 子会社の拡大路線を修正させ、赤字を一掃

堅実経営をモットーに経営改革を今下期に実行。
その結果、今下期に赤字を止め、**来期は連結利益を増益に転換**させる。

② トータルソリューションサービスの収益拡大に向けた営業を展開

【具体的成果】

- ▶ 某大手遊技場運営会社から大規模SI※ 案件を受注
- ▶ 某公営競馬場から大規模SI案件を受注
- ▶ 大手生損保会社からモバイルSI案件の引き合い

※ システムインテグレーション。システムの企画から設計・開発、導入、保守・運用まで一括して提供すること。

来期に向けた具体的な取り組み②

- ③ システナ単体の営業利益は今期約28億円を計画。
来期はこれに、**トータルソリューションサービスでの各事業部の売上上乘せと、子会社の収益貢献により、大幅な収益拡大を計画。**

合併から今期で2年が経過
前期は本体の構造改革、
今期は子会社の構造改革で筋肉質に。
構造改革も一巡し、
来期は二ケタ増益を目指す！

ご清聴ありがとうございました。

株式会社システナ

<http://www.systema.co.jp/>

本資料に記載されている業績予想及び将来の事象に関する記載は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、経済・事業環境の変化など様々な要因により変動することがありますので、ご了承ください。